

令和6年度 北陽小学校 学力向上プラン

課題

- 国語 ○ 漢字の読み・書き・活用の力が弱い。
○ たくさんの情報の中から必要な内容を検討する力が弱い。
○ 条件に合った文章を書く力が弱い
- 算数 ○ 図形や数の計算が、弱い。
○ 題意を読み取り、適切な立式をする力が弱い。
○ 変化の関係や割合についての理解が弱い。

学力調査結果

国語		算数	
3年	66.9 (市69.3)	3年	74.5 (市75.5)
4年	67.0 (市68.7)	4年	69.0 (市70.7)
5年	57.2 (県57.8)	5年	66.4 (県68.6)
6年	67.0 (全67.7)	6年	58.0 (全63.4)

※3・4年は平均点、5・6年は平均正答率。

授業における基本的な考え方

子どもたちが楽しさを感じる学びを

- 話す楽しさ・・・指名の工夫、対話
- 獲得する楽しさ・・・実感・体感
- 活動する楽しさ・・・場・教具・環境
- 関わる楽しさ・・・協働・対話の活動
- 創造する楽しさ・・・新しい試みを北陽スタンダードの実践

授業における指導

- 1 毎授業の振り返りや読書の設定
- 2 思考場面を多く取り入れ、自分なりの理論を立てさせる。
- 3 ペア学習・グループ学習等の対話による学習の深化
- 4 ドリル学習(キュービナ等)・プリント学習による基礎基本の定着
- 5 ICTの活用による授業改善(PCの積極的活用)

北陽

～「主体的・対話的で深い学び」場の実現～

本年度重点目標

- 1 言語事項の定着
- 2 的確な文章を書く力の向上
- 3 整数・小数・分数の計算力向上
- 4 図形の学習の応用と定着
- 5 ICT活用力の向上

授業を支える取組

学習の約束

- ・学習規律の徹底
- ・文房具の統一
- ・ノート指導
- ・板書の統一

家庭学習の習慣化

- ・学習のやくそく
- ・学習者用PCも含めた校内ルール策定

情報モラル教育 デジタルシティズンシップ

- いじめを許さない
- 風土醸成
- 不登校への組織的
- な対応

- 外部人材との連携
- ・校内支援体制の確立と活用
- ・SC,SSW,関係機関との連携
- ・幼保・中学校との連携

- ・全職員で対応
- ・関係職員の連携
- ・関係機関との連携

長崎県授業改善メソッドの活用
あじさいスタンダードの活用

校内研修における取組

研究主題

「すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」
～1人1台端末の活用を通して～

✦令和の長崎スクールプロジェクト

家庭における取組

- 1 「北陽っ子のくらし」
(生活の約束)の周知徹底
- 2 宿題と自主学習の推進
- 3 「あはは」運動の奨励
- 4 基本的生活習慣の徹底
(早寝・早起き・朝ご飯・歯みがき)

学校サポーターの活用

- 1 育友会
- 2 教育相談員
- 3 自治会
- 4 地域コミュニティ
- 5 別室支援員